

むさし野

No.25

事務局 〒350-0822 川越市山田912-7 石井方
電話 049-225-2466
E-mail : ishi.mkyr@r8.dion.ne.jp

法政むさし野会 第3回総会開催される

2006（平成18）年度定期総会が、6月24日（土）午後1時半から5時まで「さいたま市民会館うらわ」において、会員18名の出席により開催されました。総会司会は矢田幹事でした。

1部：総会

小林会計監査の開会の辞、石井会長の挨拶（要旨は次頁に別掲）の後、石井会長が議長となり議事に入り、第1号議案「05年度活動報告について」（筑井副会長）、第2号議案「05年度収支決算及び監査報告について」（大川会計幹事・鹿野会計監査）、第3号議案「06年度活動方針について」（筑井副会長）、第4号議案「06年度予算について」（大川会計幹事）、第5号議案「役員の改選及び顧問の指名について」（石井会長）の各議案について報告と説明があり、いずれも原案どおり満場一致で可決・承認されました。その他の議題では、会のホームページ開設の要望があり、開設する方向で筑井副会長に検討方を依頼。安藤幹事の閉会の辞をもって議事を終了しました。



総会後の記念写真

2部：講演会

冒険家・神田道夫氏をお招きして『大空にロマンを求めて』と題して1時間半、熱気球での太平洋横断飛行への挑戦など、TV放映ビデオを交えてのお話をお聴きました（次頁参照）。

3部：茶話会

本会の主活動である「会員による研究発表会・時事問題等の勉強会」の実施等について意見交換を行いました。また、初めて会場に会員の著書・絵画・写真等の作品展示コーナーを設けましたところ、5名の方から出品があり、総会を盛り上げていただきました。

・出品作品（敬称略・順不同）

鳥海美智子：著書『句集 水鳥』（文学の森社）と俳句同人誌・月刊『紫』4冊

尾辻紀子：著書『雲水街道をわたる』（講談社出版サービスセンター）

榊原洋子：絵画2点

影山五月：海外（マレーシアなど）での日本語教師活動の記録写真2冊

内田吉久：古文書『明治初年尋常小学校教科書』3冊

石井満：エッセー『通勤』（自筆額入り）1点

いつまでも持ち続けたいもの 神田氏講演「大空にロマンを求めて」から

(影山五月 記)

誰もが一度や二度、この大空を思い切り自由に飛んでみたいと思ったことがあるはずである。そんな思いを実現させている冒険家、神田道夫氏の話は痛快であり、かつ、いくつになっても、思い描いた夢を実現させるためのポジティブな考え方に人生の楽しみ方を教えてもらったようだ。

神田氏の動機付けとなったものは、あるドキュメンタリー番組であった。オーストラリアのクック山を熱気球で超えるという映像を見て強い衝撃を覚えたそうだ。スカイ・クラブの存在を知り、そこでライセンスを取得することとなった。人間、強く惹かれるものがあるとアンテナを張り巡らすものだ。こうしていよいよ念願の熱気球で日本一高い山、富士山を越えることが出来た。その時の感動が会場に集った人たちにも伝わってきた。一度クリアすれば更にチャレンジ精神は膨らむものである。

だが、風任せで飛ぶこの熱気球にも忘れてはいけない多くのリスクが隣り合わせにある。成功と失敗を繰り返しながらも夢は限りなく広がり、ヒマラヤ山脈、エベレストに焦点を当てていくこととなった。

飛行リスクだけでなく、経済的なサポートも必要となる。外国を飛ぶにはその国の許可を得なければならない。技術的な問題。何より神田氏は公務員としての仕事があり、家庭がある。ある飛行が距離、高度の世界記録を作ったことで、マスコミが注目し、スポンサーとなった。せっかくのチャンスで長年の夢であった、ヒマラヤへのチャレンジは失敗に終わってしまったそうだが、

会長挨拶の概要

本日は「法政むさし野会」定例総会にご出席頂きまして誠に有り難うございます。実は、会報24号に紙面の都合で記載されなかった3月18日の役員会で討議決定された事が幾つかありますのでその報告をさせていただきます。1つは、勉強会参加費用は従来1000円でしたが今後は無料にする。2つめは、「神宮の集い」東京6大学野球の観戦費用一人500円は会で負担する。これらは、お手元の会報24号に掲載されております通り、繰越金が170000円と大幅に黒字運営をしている事によります。また、役員改選では候補担当の青木さんが退任され、新しく菅井さんが総務役員に加わって頂きました。

さて、最近気になった2つの事について話をさせていただきます。1つは、最近の新聞に、日本の借金が800兆円を超えて世界一の貧乏国であるという事。然しながら1ヶ月ほど前の新聞には、日本の対外資産は500兆円を超える世界一の大金持ちであるという事が載っていました。ご破算で300兆円の赤字という処からスタートできないのが国家と言うところでしょうか。もう1つは、或る「南西アジアのセミナー」でのことですが。一人の質問者が、「先日、国民一人当たりの年生産が500ドルを下回る極貧と呼ばれるネパールやブータンを訪れましたが、それほどの貧しさを感じませんでした。皆、笑顔で生活していました。これはどう思われますか？」この質問に講演者は「実際の生活費が、例えば一回の食事が10円20円の世界ですから苦しくないという事になります。紙の上と実際の違いですね。」

3年目を迎えたこの会が、発足当時とほぼ同数50名の会員を有しているのは、飲み会だけではない真面目な会であると言う事が認められていると思っております。(文責：事務局)



ビデオをも交えた興味深い講演でした

次のチャレンジが待っていた。中国から日本への飛行であった。この飛行の成功で次は滞空時間に挑むこととなった。綿密な計画を立てて、カナダからアメリカへの飛行で世界記録を作ることができた。

この間、長年の夢であったエヴェレストはイギリスチームに先を越されてしまった。次のチャレンジはK-2、ナンガパルパッドであったが、気象条件、けが、中国政府から許可が下りなくなってしまったことなどの理由で断念せざるを得

なかったようだ。

失敗をばねに強い意志と物事を良い方向に転換させていく神田氏の熱い思いに私たちは何かを感じ取ったであろう。サミュエル・ウルマンの「青春とは」の一章をふと思い浮かべてしまった。人は夢を失った時に老いてしまう。2007年の太平洋横断への再チャレンジの成功を心より祈った講演であった。

総会の（出・欠）葉書の通信欄より会員の声（敬称略）

○何時も会報を送付頂き有難うございます。仕事の都合によって総会へ参加できず誠に申し訳ございませんが何卒宜しく願いいたします。今後とも石井様並びに法政むさし野会のご発展を願っております。

（田中淳一）

○定期総会欠席で申し訳ございません。第4土曜日は他会の通常例会で現在会長をしております故…。埼玉発見の企画は如何でございましょうか？ 埼玉の知らないところがたくさんありますので…。

（飯田桂子）

○現在も週2～3回働いて総会日には出席できません。昨年から越生にある厚生年金センターのこうねん大学、今年度は大学院と月2回の開講日に参加しています。

（渡部佐知雄）

○相変わらず、志木市遺跡調査会の仕事とOLの2足のわらじで頑張っております。6月24日も仕事なので、総会に参加できませんが、また宜しく願い申し上げます。宮川幸佳

○娘が7月に結婚しますので何かと雑用に追われています。申し訳ありません。ご盛会をお祈り申し上げます。

（青木美枝）

○何かイベントをやるにしても、目印などわかるようにして欲しいと、この前神宮の集いのときに友人を誘ったときに言われました。集合時間の15分前には役員の人たちが目立つようなものを持つなりしてください。と何か案が有ったら…。

（菅井肇）

○1、電子メールを充分に活用して校友の輪を広げる事を提案したい。2、学習及び校友活動の情報をどんどん流して欲しい。3、草加等でも会合を開いて欲しい。押切次夫

○総会のご連絡を頂きましたが、今回も出席できませんので誠に申し訳なく存じますが、どうぞ宜しく願いいたします。

（吉田登美子）

○最近の楽しみは、月1回行っている「そば教室」に通って、自分で打ったそばを食べる事が一番です。早いもので4年になります。無理せずマイペースで楽しみながら行っているのが長く続いているのかも…。良かったら一度上里のそば教室に…。

（小林薫）

○思いがけず2月にマレーシア、キャメロン・ハイランドにて日本語教師をさせて頂きました。

第12回 会員による勉強会「裁判員制度」を考える

平成21年5月までに始まる「裁判員制度」について、裁判所の広報ビデオ「あなたが参加する刑事裁判」と「評議」（両者で約1時間30分）を観賞し、互いに裁判員になったつもりで討論しましょう。

- ・日時：2006年10月21日（土）14時30分～17時00分
- ・場所：さいたま市民会館うらわ 606号室
- ・会費：無料

とても熱心な6人の生徒さんたちのクラスを受け持ち、教える事は学ぶ事と痛感しました。地球も狭くなりました、2015年から日本も移民を受け入れる事となり、益々日本語教師の必要性を感じます。これからは共生の時代、何事も前向きにやって行きたいです。 **（影山五月）**

○『幕末外国奉行 田辺太一』新人物往来社より2006年9月出版。江戸幕府儒者であった太一は黒船来航で幕命により長崎海軍伝習所で学ぶ。鎖国から開国へ太一は外国奉行としてフランスへ二度使節団に参加。慶応三年のパリ万博では徳川昭武に同行ナポレオン三世に謁見した。明治四年岩倉具視使節団に参加。 **（尾辻紀子）**

○仕事の関係で出席出来なくてすいません。 **（渡部英敏）**

○靖国問題を考える勉強会を開かれていますが大変良い事だと思います。小泉首相の参拝には国論が二分されていますが、私は歴史的経緯から言っても反対です。また、外交を喧嘩にしていけません。個人的信条からの参拝だとしても政治家だったら国益を優先させるべきでしょう。「まじめな会」の益々のご発展を祈念いたします。 **（葛西利武）**

○6月24日の総会を楽しみにしております。役員の方々の努力により「法政むさし野会」の活動はそれなりの活発さを持って進行していると思っています。今年も新卒者2名の加入があったことで活性化が図られていくと思います。また毎回の講演或いは研究発表も多彩な内容となっていてとてもよいものです。こうした活動を地道に続けていく事がとても大切だと考えます。役員の方々に敬意を表します。 **（赤間鉄雄）**

●内田顧問が中心となった「戦争体験記」が発行されました。

本会顧問（前会長）内田吉久氏が中心になった文集『^{いしづみ}碑 私たちの戦争体験』が発行されました。以前から自分たちが知る60年前の戦争・戦後の体験を記録して置けば後世に伝える事ができると考えていたそうですが、小学校時代の友人から「戦争体験の大事さ」を呼びかける手紙をもらったことから、身近な体験を持っている小学校の同窓生に「戦争体験記」の執筆を呼びかけ、この8月にできあがったものです。（連絡は、048（887）5181＝内田まで）

●当会のホームページができました。

当会のホームページを作成しました。会合お知らせ、会報のバックナンバーなどを掲載して、会員間の連絡や新規会員へのPRなどに利用していきたいと考えています。（筑井）

- ・アドレスは次の通り <http://www.longview.jp/musashino/>

●会員の異動（2006年6月）

- ・入会：渡辺 穰さん（東京都練馬区 文・史）
- ・退会：南条 喜三郎さん

◆あとながき◆

気のせいか、雲が吐息をついているようです。あまりにも短絡的な事件が多すぎます。「靖国問題を考える」以降、「戦争のことは学習しなかった」では済まない時代になっていることに気づきました。前会長内田さんの「戦争体験記」の発行。「戦争を起こしてはいけない」という強い熱意を感じております。（烏海）